

## 令和7年第4回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和7年4月18日 午後4時
- 2 閉会 令和7年4月18日 午後4時56分
- 3 会議に出席した委員  
教育長 伊藤 正徳  
教育長職務代理者 高崎 佐智江  
委員 太田 孝雄  
委員 田中 早苗  
委員 田中 智和
- 4 会議に欠席した委員  
なし
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 山田 達也  
教育部次長兼図書館長 是住 久美子  
教育総務課長 川口 崇  
学校教育課長 鈴木 和美  
生涯学習課長 小久保 高  
スポーツ課長 鈴木 雅也  
文化財課長 天野 敏規  
教育総務課長補佐兼係長 大久保 加奈子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第4回定例会議事日程

日 時 令和7年4月18日（金）

午後4時00分

場 所 市役所北庁舎3階 302会議室

### 1 会議録署名者の指名

### 2 教育長報告事項

### 3 議題

- (1) 議案第12号 田原市社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則について

### 4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 令和7年度教育方針について
- (3) 教育委員会令和6年度共催・後援事業について
- (4) 令和7年度の主なイベントについて

### 5 その他

開 会 午後4時00分

教育長

失礼いたします。皆さん、こんにちは。  
本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださりまして、ありがとうございます。  
ただいまの出席者数は5名であります。  
定足数に達しておりますので、令和7年田原市教育委員会第4回定例会は成立いたしました。  
これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。  
今回の署名者として、高崎委員と田中早苗委員のご両名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。  
報告をさせていただく前に、教育委員の皆様にお詫びいたします。中学校の休日における部活動の地域展開、地域移行の件でございます。本件につきましては、文部科学省の通達に従い、地域の子供たちが困らないようなあり方を模索しながら進めていたわけですが、本来は教育委員の皆様には十分な説明をし、そこから出発するというのが本意でございますが、その十分な説明の部分が欠けておりました。  
さらに、先週、その事前に説明すべき内容が、新聞で先に報道されるということがありました。教育委員会を軽視しているというつもりは全くございませんが、結果として、委員の皆様のご気分を害されるような形になってしまい、誠に申し訳ございませんでした。  
今後については、今回のことをしっかり反省し、教育委員の皆様への丁寧な説明に努めてまいりますので、何卒ご容赦ください。申し訳ございませんでした。

それでは、資料の2ページと3ページについて、教育委員会報告を行います。

まず、3月30日の教職員の人事異動発表から、31日、それから4月1日につきましては、皆様もご出席いただきましたので、お分かりかと存じます。今回の人事異動は、校長が9名、教頭が2名の、管理職11名が退くという、非常に大きな変化がありましたので、それをなんとか、最小限の影響で抑えることができるように、前課長、前補佐、それから自分も入り、必死になって考え、今の体制を築きました。

新年度が始まり半月ほど経ちますけれども、今のところ、問題はなかったわけではないのですが、大きな問題、いろいろ聞こえてくるものはないかなという状況でございます。

なお、前課長と前補佐のおかげで、学級数、それからそれぞれの学校のいわゆる教員定数と呼ばれるものについては確定をし、間違いがないということで県教委からお墨つきをもらっておりますので、これについては安心をしております。

それから、4月7日ですけれども、愛知県立とよはし中学校、つまり東三河で1校となる、夜間中学校が開校いたしました。入学者が22名だったと思うのですけれども、その多くが外国籍の子たちということで、10代から60代の方が入学されています。中心は10代だそうなのですけれども、非常に落ち着いた、いい式だったと思います。

やはり学び直したいとか、自分の可能性を広げたいとか、そういうような思いが伝わってきましたので、できれば今後、不登校などで引きこもっている子たちの受皿に、うまくなってくれたらいいなと。これは、県教委もそういうつもりでおりますので、今後に期待をしたいと思います。

それから翌日、4月8日、9日にかけて、小学校、中学校の入学式、始業式を行いました。

これについても非常に天候にも恵まれ、この前後については雨が降ったので、本当にここだけしか晴れないという、まさにそれぞれの校長の天運というか、運というのが見られたかなと思います。

資料に児童生徒数を記載しましたが、見ていただくと分かる通り、中学校は500人前後でずっと推移しているのですが、小学校は、4年生までは500人おりますが、1年生から3年生、特に1年生は400人しかいない。

つまり、新4年生から、一気に、わずか3年で100人減るというような、少子化が目で見えてはつきり分かる現象が起こっております。

これについては、市長も非常に頭を悩ましているところでして、どうするというようなこちらへの声かけもあります。当然、これについては、今後の学校配置はどうするのかという話が出てきます。

これについては、早急に統廃合だとかそういう結論を急ぐのではなく、地域の意向を確認しながら、しっかり確かめながら進めるということで、前回の市議会で答弁しておりますので、それに従って地域が納得する、より良い方法を市教委として探していきたいと思います。

3ページに入りまして、最後のほうになるのですけれども、4月14日に東三管内市町の校長会議を行いました。そこで自分が話したことは、こんな学校であつたらいいなという、いつもこのパターンで入

っているのですけれども、明るくだとか、優しくだとか、粘り強くだとか、そういう項目を起こして、それぞれ学校に期待すること、やはり学校の最大の目的は子供たちの健やかな成長ですので、しっかり学力をつけ、それからしっかり体力、運動能力をつけ、そしてさらに今の学校は、学校だけではなくて地域にもあるというか、コミュニティ・スクールとして今やっておりますので、それぞれ地域の学ぶ力、それはその中には当然うちらが持っている施設の図書館であるとか、博物館であるとか、文化会館であるとか、シェルマよしごであるとか、そういうところの学びを上手に生かしながら、やってほしいというのは、ここで伝えました。

2番の南海トラフについては、いわゆる被害想定が見直されましたので、特に津波が心配されるようなところについては、もう自分たちで作ってはありますけれども、やはり中学校区というか大きな単位で、本当にこうなったらどうするかという話合いの場を頻繁に持つように依頼をいたしました。

それから、③番の小中学校の今後の在り方については、先ほど話したとおりです。

④番の不祥事撲滅については、学校教育課長から、定例会後に改めてご連絡させていただきますが、実は本市の教員で、スピード違反、度を過ぎたスピード違反がありまして、今後、県の処分案が示される予定です。そのため、定例会とは別に臨時会を開き、処分の決定について、市教委の承認をいただく必要があります。

合わせて、子どもたちの前に立つ先生が不祥事を起こしたら子どもたちはどう思うのかと。それを教員はよく考えなさいという、大体そのような話を校長会でしまして、5月1日の教職員会総会の際には、ビデオメッセージでさらにはっきりと伝えるというようなことを行いましたので、よろしくをお願いします。

私からの報告は、以上とさせていただきます。

何かご質問等はあるでしょうか。

田中早苗委員

(挙手)

教育長

田中委員、どうぞ。

田中早苗委員

以前、説明があったかもしれませんが、小学校の入学式と始業式が、全校で同日であったり、別日であったりする理由はなぜでしょうか。

教育長

最初の頃は、体育館に入れる人数が学校によって異なりますので、

例えば、童浦、衣笠、神戸、東部などは全校生徒の対応ができないという、基本的にはそこから始まったものです。現在、8校まで増えているのですが、同日にするか別日にするかは、校長の権限となっています。田原市教育委員会がこれを行っているわけではございません。

収容人数以外の理由で日程を分けている学校については、5、6年だけが入学式に参加する場合、より丁寧に新入生に関われるだとか、そのような理由が考えられると思います。神戸小が今は日程を分けていますが、一緒にしたらどうかという声も出ているようで、検討しますというような状況があったということも聞いております。大きな理由については、各学校、それぞれ保護者に説明しているかと思われませんが、現時点ではこれといった大きなものはございません。

田中早苗委員

ありがとうございます。

そのほかございますか。太田委員、どうぞ。

太田孝雄委員

報告の中で、今年度の各学年の人数を大変興味深く見させていただきましたけれども、市のほうの年齢別の男女別人口を見ますと、今、1年生が400人ですが、今の5歳児から300人台、それから2歳児は290人で、0歳児は228人ということで、ここ数年で激減しているようです。

先ほど学校配置の問題も言われましたけれども、この減り方は異なるので、やはり各学校の対応、先ほどの問題が、課題として出てくるのではないのかなということを感じました。

以上です。

教育長

はい。仰るとおりです。

各学校へも、関連するデータは校長会を通じて流しておりまして、それぞれの学校でこういう数になるから、コミュニティとよく話し合っただけで地域の意見をまとめていって欲しいと。

伊良湖岬小学校を統合したときのように、大津波が想定されるからその対応でという大義名分はもう考えにくいので、基本的にはそれぞれの地域で考えてもらい、地域の意見としても、学校は大きいほうが良いというところもあるだろうし、また、それでも地域に学校は残ってほしいという意見もあるだろうしということで、それについて市は相談に乗りながら、将来的に子どもたちにとってより良い方向を探るのかなと考えております。

特に難しいのは、今、0歳児は220人ちょっと、はっきり言えば今の4年生の半分以下となるのですけれども、要は小さい学校を一緒

にしても、数年経つと、また何処かと統合しないといけないと、いったことになる可能性がある。やはり統廃合を何度も繰り返すというのは、子どもにとってあまり良くはない環境かと思います。

もし、今後統廃合を進めるとしたら、ある程度腰を据えて、10年先、20年先というか、本当は100年先を見ていきたいのだけれども、それは分かりませんので、やはり10年先を見たときに、これならばらくというか、少なくとも10年、20年は落ち着いて子供たちもこの校舎で学んでいけるという方向で考えていきたいかなと思います。

実際、3つが集まったはずの伊良湖岬小学校も、既に1クラスとなっており、令和6年度に産まれた子たちは確か3人程でしたので、3校集めても、結局そうになってしまうという現実があります。やはりそうすると、保護者としても長い目で見たほうがいいなという意見が出てくる可能性がありますので、その意見をに耳を傾けながら取り組んでいきたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、これで教育長報告を終わります。

教育長

それでは、これより議題に入ります。

初めに、議案第12号 田原市社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

生涯学習課

それでは、説明申し上げます。

4ページを御覧ください。議案第12号 田原市社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則について、田原市社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則を別紙のとおり定めるものとする。令和7年4月18日提出、教育長名でございます。

提案理由ですが、「刑法等の一部を改正する法律」の施行により、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、これらに代えて「拘禁刑」が創設されたことに伴い、関係規則の一部を改正するものでございます。

それでは、内容についてご説明申し上げますので、2ページお進みいただき、6ページの新旧対照表を御覧ください。

左側の欄が現行、右側の欄が改正後（案）となっております。

第4条、第1号中、禁錮を拘禁刑に字句を改めるものでございます。附則でございますが、第1項は、この規則の施行期日を令和7年6月1日とするもの、第2項は人の資格に関する経過措置について定めるものでございます。よろしくをお願いいたします。

教育長

事務局の説明が終わりました。これは刑法の改正に伴うものとなりますが、ご質問等はございますか。

ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第12号 田原市立社会教育指導員設置等に関する規則の一部を改正する規則について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

「異議なし」

ありがとうございます。

ご異議ないようですので、議案第12号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入ります。

初めに、教育委員の皆様方の報告事項を順にお願いいたします。

では、高崎委員からよろしくをお願いいたします。

高崎佐智江教育長職務代理者

4月4日、教育長とご一緒させていただき、第1回東三河教育事務所管内教育委員代表者会議に出席をさせていただきました。いつもののですが、東三河の教育長はじめ教育委員の皆様が集まるということで、大変、刺激のあるものとなりました。

各市の教育長のそれぞれのお考えを伺うことができたり、例えば、えっと思うような発言があったりとか、本当に当市は進んでいるなど思ったのですが、たくさんの会議の資料をプリントしなければいけない、負担を減らしてほしいという意見が他市からありました。そういうときに教育長が、うちはタブレットが進んでいますということをお伝えしていて、田原市の中だけにいると分からないことでも、実はかなり進んでいる、恵まれた環境にいるのだなということを感じさせていただきました。

それから、文部科学省から降りた内容が県に、県から東三河、そして東三河から市へという仕組みがあるわけなのですが、その末端というか、一員として、5年目に入りますので、いろいろジェネレーションギャップも感じますが、これからも勉強させていただき、今年1年努めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

続いて、太田委員よろしく申し上げます。

太田孝雄委員

前後いたしまして、3月のこととなりますけれども、教育委員会表

彰の件については、前回報告しませんでしたので、少し、感じたことを報告させていただきます。

今年もたくさんの方が団体、個人の表彰をされましたけれども、この表彰を見ていくと、団体としては東部中学の陸上部のリレー、それから成章や農高ですとか、農業クラブなどの団体がありましたけれども、だんだんと表彰自体が学校から離れて、地域の個人でやっているものの実績の表彰に移っているのかなと。もう一つは、集団から個人の活動に変わってきているのではないかなということを考えてときに、部活動のあり方ですね。小学校はなくなりましたけれども、中学校の部活動自体、集団の中で子供たちが成長していくという、もちろん個人が成長していくのですが、だんだん団体の役割というか、意味が弱くなってきているのが残念だなと感じました。それから、個人についても、中学校の部活動とは全く違う種目の空手であったり、キックボクシングであったり、そういうものの実績が多くありましたので、各中学校の部活動というものが、だんだん子供にとってのウエイトが軽くなってきているのが時代の流れかなということで、やむ得ない部分もあるかと思うのですけれども、そんなことを表彰から見て感じました。

年度末、年度初め、色々な式に参加させていただいて、特に今年には新規採用教職員の配当内示に、初めて私はこの立場で出させていただきましたけれども、大変初々しいというか、若くて意欲を持って教職の道を目指した方々と実際に対面できてよかったなと思います。

年度末、年度初め、今年にはちょうど教育長のお話にもありましたように、たくさんの方々が退職されたので、各学校が新しいスタッフで、新しいスタートを切りつつあるのかということで、特に今年には各学校、いい意味でリフレッシュというか、新しい風が入ってスタートできたのではないのかなということを感じました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、田中早苗委員よろしく申し上げます。

田中早苗委員

3月31日の教職員退職者辞令交付式に参列しました。退職される方々の中に、私が教育委員となり初めて学校訪問で訪れた学校の校長先生や、息子の担任だった方もいて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

4月1日に教育委員会事務局職員辞令伝達式と、教職員発令通知式に参列しました。

教育長から新任の方々に若さは魅力だというお話をされて、事務の方々には担任が放課後に児童生徒と遊べるようにフォローしてほしい

とお話されていまして。とてもそこが印象的でした。

学校は勉強を学ぶばかりではなくて、人と人との関わりを学ぶことも大切だと思います。やはり児童生徒から人気がある先生は、一緒に遊んでくれる先生だと思うので、また、若い先生は年齢が近くて相談をしやすいといった意味でも、とても人気が出ると思います。

事務の方が頑張ってくれると先生方は児童生徒に好かれ、結果その保護者にも好かれて、事務の方々も仕事がやりやすくなるのではないかなと思います。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

それでは、田中智和委員よろしく申し上げます。

田中智和委員

私からは1点、本日、神戸小学校の授業参観とPTA総会に行ってきました。うちの息子の担任の先生が3月25日の新規採用職員の先生でいまして、先週、先生が放課に遊んでくれたと喜んで、早速、教育長の言われたことを実践していただいて、新しいクラスに不安がっていたのですが、一発で虜になって、すごく良いことだなと思いました。

授業参観のほうも緊張している様子でしたが、子供たちの距離もだいぶ縮まっていて、いい雰囲気でした。

そして、総会なのですが、今年からスマホに「デンタツくん」で総会資料を送って、総会スタートと同時にみんなでスマホを見ると、はたから見るとみんなでスマートフォン見ているだけではないかなという感じなのですが、その中でもペーパーレスで、今までの余分な資料がなくなって、非常にすっきりした総会でした。

あと、校長先生が交通の誘導で旗振りを一生懸命やっておられて、一番動けるのが校長先生だなというぐらいの働きをしていましたので、報告しておきます。

以上です。

教育長

校長が動けるというのは、下にいい見本を見せているのかなと思っておりますので、また言うておきますね。

では、次に報告事項の(2)令和7年度教育方針について、まず自分のほうから一番上に付けた、教育方針「元気な渥美半島を支える人づくり」子どもたちの笑顔を引き出すふるさと教育への取組み、これについては3月にすでに説明しましたが、今まではコロナもあって不確実な中で、一步一步、というような言葉を使っていたわけですが、市長が、「渥美半島を元気に」というスローガンでやっておりますので、教育は、基本的にはそれを支える人づくりだということで、こう

いう形にいたしました。

その基盤はもちろんふるさと教育で、やはりふるさとに自信を持っていかないといけない。つまり、ふるさとというのは、身近なものに愛着が沸かないと、どこに出て行ったとしても根無し草のようになってしまうという意味合いがあるのかなと、自分は思っております。

それを受けて重点目標を3つ、一つ目を変更しておりますが、自ら課題を見つけ、粘り強く追求して解決し、とありますが、新しく付け加えたのがそこから後ろです。その結果を進んで周りに発信できる。

やはり、自分の意見がちゃんと言えるだとか、あるいは絵だとか、スポーツとかで表現できるだとか、歌でちゃんと歌えるだとか、そういうようなことまで含めて最終的に表現できないと、ここからの世の中は渡っていけないよ、そういう子を育てていきましょう、と考えています。

そして、2番目に各課が連携し、とありますが、これは昨年と全く同じです。教育委員会は6課持っておりますので、6課がばらばらに動くのではなく、やはり最終的には人づくりを目指して動いていくことを意識して、今から各課が個別に説明しますけれども、そういう施策を打ち出していく。

そして最後は、家庭、学校、地域、行政。家庭が地域の中に入り込んではいるのですけれども、この3つが上手に動くことで、先ほどから何回も子どもが少ないという課題は出ているのですが、では実際、確かに子どもは200何人になってはいますが、例えば、田原にお昼働きに来て、夜になると豊橋方面のご自宅に帰っていく方々もいる。やはりそこには子どもがいますので、そういった方たちに、田原に定着してもらい、田原で子育てできるような仕組みが大事かなと。

ただし、それは教育委員会だけで実現できることではないので、市長部局とも力を合わせ、街づくりという観点でやっていくのが良いのではないかと考えています。

教育委員会としては、その基礎づくりをまず学校、それから地域、家庭を通して、少しでも支えていくという方向で動いていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、各課からの目標をよろしく申し上げます。

教育総務課長

教育総務課からご説明いたします。

教育総務課は、良好な教育環境づくりとして3点上げさせていただいております。

1点目は、田原市総合教育大綱・教育振興基本計画の着実な推進ということで、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とした総合教育大綱・教育振興基本計画に基づき進められる教育委員会の

業務全体の振興化に取り組んでまいります。

合わせて、今年度、終期を迎える総合教育大綱・教育振興基本計画の改定にも取り組んでまいります。

2点目の学校施設の長寿命化対策と施設の計画的な整備・改修による学習環境の整備の推進ということで、本年度と来年度にかけて、童浦小学校の長寿命化改修工事を行ってまいります。

それとともに、市内の屋内運動場の空調整備、整備工事や教室灯等の証明のLED化の整備工事、バリアフリースイールの整備工事など、学習環境の整備に取り組んでまいります。

学校プールの集約化と効果的な運用方法の検討でございますが、学校プールの集約化については、令和2年度から事業に取り組んでまいりまして、令和3年度から実証調査を進めており、令和7年度も実施してまいります。

実証調査の状況も踏まえまして、民間施設の活用、現在進めております市民プールの活用など、効果的な運用方法を検討してまいります。

以上でございます。

教育長

では、学校教育課お願いします。

学校教育課長

学校教育課は、きらり子ども輝く、ふるさと田原で夢を育む学校教育のために、3点重点を上げました。

1点目、コミュニティ・スクールによる「ふるさと学習」の充実、市内22校のうち、本年度18校がコミュニティ・スクールになります。地域と密着して、学校教師だけではない豊かな教育環境をふるさと学習で実現するというので、1点目を上げさせていただきました。

2点目、一人一台タブレットの更新、それから本年度、学習アプリを導入しました。

個別最適化、一人一人の進路に合った学習と、共同的な学び、タブレットも使って友だちと触れ合い問題解決を図るという2点を、タブレットを使って実現する。これは文科省が進める教育にマッチしています。

3点目、地域や関係機関等と連携した放課後・休日の子どもの活動支援ということで、中学校の部活動がこれで休日活動ができなくなりますので、それを後押しするように学校教育課だけでは進められないので、他の期間と連携を図り、子供たちの豊かな活動を支援していきたいと考えています。

以上です。

教育長

はい。では、生涯学習課、お願いします。

生涯学習課

生涯学習課です。未来につなぐ生涯学習の充実として、3点上げています。

1点目、ライフステージに応じた学びの推進、生涯学習という形で若者から高齢者まで、各年代といったそれぞれのライフステージに合わせて形で、学ぶ時間とかがあると思いますので、それに応じてそれぞれの学びを推進していきたい。

2点目、学びのために情報提供の充実という形で、いろいろな教室等も開催していますので、そういった機会、趣味を提供して受講できるという情報をホームページや雑誌等で提供していきたいと思っております。

3点目、学びを支える環境の充実という形で、先ほど申しました教室の開催の支援、また文化センター、スポーツ支援等ありますけれども、そちらの施設のほうも頑張っていきたいと思っております。

以上です。

教育長

では、スポーツ課お願いします。

スポーツ課長

スポーツ課です。

スポーツの力で地域との絆づくりということで、1つ目として、スポーツに親しむ機会の充実とスポーツ人口の拡大ということで、今の話にもよく出ておりましたが、少子化のある中でスポーツに親しむ機会として、先ほど生涯学習課が話したとおり、スポーツの発信をするために情報の提供、また少年教室、初心者教室と、あとはフリーでできるリクリエーション教室などを実施しまして、スポーツ人口の拡大を目指してまいります。

2番目といたしまして、ふるさとを体感できるスポーツイベントの開催の継続と継承のほうは、自然豊かな渥美半島を活用したトライアスロンなりのスポーツイベント、またそれにスポーツイベントに合わせた地域を盛り上げるためのイベントを同じように開催してまいります。

3番目の各種スポーツ国際大会等の開催と、おもてなしによる地域社会の活性化ということで、こちらのほうはワールドで、日本にとどまらず、世界に通用するような大会等の誘致をしながら、またおもてなしによる田原市のPRをしていくことを考えております。

よろしく願いいたします。

教育長

はい。では、文化財課お願いします。

文化財課長

文化財課です。

大きなテーマとして、守り、伝え、感じる、ふるさとの文化財の継承としました。3点あります。

ふるさとの文化財の継承、研究調査・整理、保護管理体制の充実につきましては、研究調査・整理、保護管理体制を充実させるだけでなく、文化財を広く後世に長く伝えていくというのが我々の仕事でありますので、文化財の継承も今回から追加させていただいたということになります。

2番目、博物館資料のデジタルアーカイブ化による公開と活用の推進であります。引き続き、博物館資料につきましては、デジタル資料をアーカイブにしまして、積極的に公開と活用をしていくということにしています。

それから最後、文化財を活用した学校・地域との連携の充実強化につきましても、やはり学校、地域、企業さんといったところと連携を密にしながら、ふるさと教育の推進でありますとか、ふるさと学習の支援を積極的に行っていきたいというものでございます。

以上です。

教育長  
図書館長

では最後、図書館お願いします。

図書館は、生涯読書の振興とふるさとに関する情報の編集と発信としました。3点上げております。

1つ目は、乳幼児から高齢者、障害のある人も生涯にわたって読書を楽しめる環境の整備ということで、教育大綱と合わせて図書館の生涯読書振興計画も更新する予定ですが、実践をしつつ今後5年間の生涯読書の振興について検討をしていきます。

2つ目が、田原に関する歴史・文化資源のデジタルアーカイブ化と利活用の推進ということで、前年度、子供たち向けの田原学校電子図書館がスタートしていますので、文化財課とも連携しながら、そこにふるさと教育に役立つようなコンテンツを上げて、子供たちにも活用してもらえるように整えていきたいと考えております。

3つ目ですけれども、学びを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりによる地域活性化ということで、今年度、図書館では対話を重視しております、対話ファシリテーター養成講座というものを実施しますが、そういった学びも通じて人をつくっていったり、つながりをつくっていったりするような学びのコーディネーターの方々を養成することを通じまして、地域の活性化を行っていきたいと考えております。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

それでは、6課の説明、事務局の説明が終わりましたけれども、何か、ご質問等はございますでしょうか。

では、ご質問もないようですので、次に(3)教育委員会令和6年度共済・後援事業について、事務局から報告をお願いします。

生涯学習課長

8ページを御覧ください。令和6年度田原市教育委員会共催・後援事業の生涯学習課分の一覧となっております。

10ページまで進んでいただきますと、全体の合計が書いてあります。基本的には、共催・後援というのは、要綱に基づいて認可をしている形となっており、各種団体が行う社会教育に関する諸事情、社会教育の事業の推進を図る形のものについて、共催・後援を出しているところです。

共催につきましては、主に文化協会が7件、学友協会が1件、あと愛知県教育委員会が1件と、合計9件となっております。後援のほうは、一覧のとおり76件となっております。

以上です。

教育長

続きまして、スポーツ課からお願いいたします。

スポーツ課長

11ページをご覧ください。開催日で日付が前後しておりますのでご了承ください。また、令和6年度の共催及び後援をした事業ということで、年度を跨いでいるものがございますが、お願いいたします。

各種ソフトバレー、ソフトテニス、各種目こちらの制度を利用して、子供から大人までいろいろな大会や講習会を実施しております。

こちらは、共催が43件、後援が103件という数で、6年度承認分は実施済です。

極力、スポーツ推進になるようなものに関しましては、後援、共催を実施してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、次に報告事項(4)令和7年度の主なイベントについて、事務局から説明をお願いします。

教育部長

報告事項（４）につきましては、私からご説明申し上げます。  
（４）の資料を御覧いただきたいと思います。

この資料は、市議会議員にあらかじめ報告している資料で、令和7年度行事予定表となっています。

皆さま方、今、御覧になっている薄黄色で示された行事は、教育委員会が主に関係している行事でございます。明日4月19日土曜日、第4回渥美半島ウルトラネイチャーランが、早朝から開催されます。5月23日からは春の文協まつり、24日につきましては、田原市陸上選手権大会などが開催される予定でございます。

続いて、次ページを御覧ください。6月の28日から7月12日まで、中学校総合体育大会が市内各会場で行われる予定でございます。

7月26日から27日にかけては、伊勢市内におきまして、伊勢市長杯の学童軟式野球大会が行われる予定でございます。

8月上旬から9月下旬にかけては、終戦80年・昭和100年展が博物館、8月2日土曜日は、こどもオペラが田原文化会館の文化ホールで行われる予定でございます。こちら、時間は未定でございます。

また、8月にはシェルマよしごとにて、夏の特別体験や、9月にはトライアスロンが伊良湖港一体で開かれる予定でございます。

続きまして、17ページ、9月28日にオフロードトライアスロン、メイン会場は白谷海浜公園でございます。

9月30日から11月5日、アジアサーフィン選手権と書いていますが、これは昨日、正式に大会の取下げをしておりますので、この日程は削除いただきたいと思います。

ただ、このアジアサーフィン選手権に代わる国際大会が9月上旬から中旬にかけて開かれる予定ですので、また追って委員の皆様にはご紹介をさせていただきたいと思います。

10月上旬から11月下旬にかけては、渥美半島貝塚展、10月4日、中学校新人体育大会、5日、スポーツギネス大会、10月30日は小中学校研究発表会。これは、福江小学校、東部小学校で行われます。

続きまして、10月31日から11月上旬にかけて文化祭、11月1日は文化祭の一環でございますが、市民茶会が池ノ原会館で行われます。11月1日はスポーツ交流事業が予定されております。

次のページ、11月9日、中部実業団駅伝が市内で行われます。

色が入っておりませんが、11月16日、福祉のつどいとなっておりますけれども、今、生涯学習課で寄席のイベントが11月16日の日曜日、午後2時から田原の文化会館で開かれる計画がございます。

三遊亭小遊三さんをお招きするような寄席となっています。また詳

細は追ってご連絡をさせていただきたいと思います。

11月、12月にそれぞれの大会、特に12月中旬は毎年行われますが、愛知万博の市町村対抗駅伝が愛・地球博記念公園で行われます。

翌1月11日は、二十歳の集いが行われます。2月1日、渥美半島駅伝競走大会、3月6日には、ウォーキング大会や、中学校の卒業式、それぞれ予定しています。

19ページ、3月19日が小学校の卒業式となっております。

また、中学校の卒業式や、小学校の卒業式は委員の皆様方にご依頼をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

3月の赤羽根ビーチランは、第2回目になりますけれども、計画を予定しています。

簡単ですが、以上報告とさせていただきます。

教育長

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明がありました。

ご質問等ございますか。たくさんの行事が組まれておりますので、またできましたら御覧いただけるとありがたいと思います。

それでは、ご質問もないようですので、次に報告事項の(5)児童クラブへの寄附について、事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長

令和7年の寄附一覧を御覧ください。

ナンバー20のところになります。報告が遅れ、大変申し訳ございませんでした。寄附日は令和7年3月19日、寄附者は株式会社藤城運輸、代表取締役社長、藤城啓丞さんです。

寄附先は、田原市内の公営児童クラブ、寄附の目的は防災対策の充実のためということで、寄附内容は防災用のヘルメットを100個寄附していただきました。金額で41万8,000円となっております。

次ページに、児童クラブで昨日17日、感謝状贈呈式をしまして、そのときに児童クラブの方と写真を撮ったものを添付しております。

この防災ヘルメットは、折り畳み式のヘルメットとなっておりまして、大変コンパクトになっており、置き場所を取らないというもので、児童クラブのほうで活用させていただきます。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

事務局の説明が終わりました。

何かご質問等はございますか。

教育長

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

そのほか、事務局から何かありますか。  
では、学校教育課長、どうぞ。

学校教育課長

学校教育課です。

休日部活動の地域展開について、資料はございませんが、口頭でお伝えさせていただきます。

今年の4月から中学校の部活動が休日の活動なしとなりましたので、教育委員会として中学生を対象に活動となっている既存のクラブを地域クラブとして認定し、認定した地域クラブの休日の活動にかかる指導者への謝礼や、生徒の保険料等の活動費を支援できるように運用の検討、調整を行っています。

支援については、9月以降の活動が対象となるように、9月から地域クラブに申請の受付を開始し、7月にクラブ加入生徒を募集、8月には活動費補助の支払いの調整をしていくスケジュールとなっています。

中学生が休日に活動できる場づくりのために必要な支援が行われるよう、ただいま調整を行っております。

以上です。

教育長

そのほか、ありますでしょうか

教育総務課長

教育総務課です。

令和6年度の、教育委員会事務局の職員の懲戒処分等のご報告ということで、まとめて報告させていただきます。

昨年度、懲戒処分が2件ございました。1件は業務によるもので、交付金事務の不適正な事務処理ということで、交付金の一部返還が生じたので、それに関しまして管理監督者としての指導監督不適正として、戒告という処分となっております。

もう1件は公務外のものでして、交通違反により減給10分の1、1カ月というものでございます。こちら、業務によるものについては市のホームページで既に公表されておりますので、ご報告を申し上げます。

公務外の1件につきましては、市の基準によりまして非公表という形でございますので、本日、口頭でございますが、報告をさせていただきます。

その他、懲戒処分に当たるものではございませんが、訓告として公務によるもの3件、公務外によるもの1件、こちらは交通違反等になりますけれども、それがございましたので、ご報告させていただきます。

す。  
以上です。

教育長 はい。そのほか。

教育部長 教育長。

教育長 はい。どうぞ。

教育部長 それぞれの事案について、このようなことが起き、委員の皆様はじめ市民の皆様、市政に対する信用失墜をさせてしまったことは、皆様に本当に深くお詫び申し上げたいと思います。申し訳ございませんでした。

二度とこのようなことが起こらないよう、職員の業務に対する進捗の管理、あるいは業務を行う上で正しい連携体制などを構築し、再発防止に努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。申し訳ございませんでした。

教育長 よろしくお願ひします。  
そのほかどうでしょう。

教育総務課長 はい。

教育長 はい。総務課長。

教育総務課長 それでは、教育総務課から、資料のほうにお戻りいただきまして、配信しております資料の最後のページを御覧ください。  
教育委員さんの出席日程（案）ということで、資料を添付しております。

本日、4月18日以降のスケジュールでございます。

4月28日月曜日、教育委員会の第2回臨時会ということで、15時30分から市役所の北庁舎、201会議室で行いたいと思ひますので、ご予約をお願いいたします。

5月7日につきましては、愛知県市町村教育委員会連合会の第1回理事会・幹事会ということで、14時から長久手市役所で。こちらは、田中早苗委員のご出席をお願いいたします。

5月20日、第5回の定例会としまして、13時30分から南庁舎6階の600会議室で行います。

6月13日金曜日は、第6回の定例会としまして、16時から政策会議室で行うことを予定しております。

ページ下段の表ですけれども、教育関係イベントということで、今年度も教育関係イベントが開催されますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

教育長

はい。ありがとうございます。  
では、その他どうでしょうか。

スポーツ課長

はい。

教育長

スポーツ課長。

スポーツ課長

先ほどお話がありました、ウルトラネイチャーランにつきまして、もう少し詳細なご報告、ご説明をさせていただきます。

資料をご覧ください。明日、4月19日土曜日、チャレンジコース73キロ、エキスパート、リレーコースとして、103キロの競技が実施されます。

エキスパートコース、リレーコース、こちらのほうはともに朝5時スタートとなっております。チャレンジコースは73キロですが、朝7時スタートとなっております。受付がそれより早い時間にありますので、選手等、早い時間から動きをとっております。

また、こちらの表彰式を15時から実施しまして、19時大会終了となっておりますので、ほぼ半日ほどかけて選手が走ってくる形になります。よろしく願いいたします。

教育長

自分も4時には間に合うように、そこに行こうかと思っています。  
こういう大きなランは、非常に盛り上がる大会ですので、また御覧いただけるとありがたいかなと思います。

それでは、文化財課長よろしく願いします。

文化財課長

はい。配付資料で、展覧会案内を配付させていただきました。  
今年度の博物館の展示の予定でございます。先ほど、下旬というようなことで予定が入っておりましたが、日にちがこちらのほうには入っておりますのでご確認いただいて、ぜひご来館いただければと思います。

文化財課長

それから、4月26日にシェルマよしごが10万人を達成する見込みとなっております、その日の10時からイベントを行う予定です。

10万人達成の記念品として、Tシャツを今準備しています。Tシ

シャツは3デザインありまして、シェルマを訪れた来館者、市内外の児童生徒さんたちに投票をしてもらっております。

投票のほうは既に終了しております、デザイン案は決定しましたが、投票結果のデザインは26日に発表するというごさいますので、お時間ありましたら、10時前後に訪れていただければと考えております。

以上です。

教育長

またどこかで紹介があるかと思いますが、なかなかセンス溢れるというか、二度と忘れないような。かわいいですよ。

文化財課長

すみません。言い忘れました。

Tシャツはシェルマで、3,000円で販売する予定です。黒白の2種類ありまして、子供用も作ります。大人用もMとLがありますので、ぜひご購入を検討していただければと思います。

以上です。

教育長

はい。よろしくお願ひします。

そのほか、ありますか。

図書館長

はい。

教育長

はい。どうぞ。

図書館長

図書館が配付させていただきました「たはらとLeaf」の4月、5月号に、図書館の行事が載っておりますので、皆さんよろしければ御覧ください。

そこにも載せていますけれども、こどもブックフェスタというものを開催します。渥美図書館のほうではスタンプラリーということで、本を借りたり、おはなし会に参加したりするとスタンプを集めて記念品がもらえるのですけれども、毎年、大人の方もやりたい方がいらっしやいまして、大人の方も参加できます。

スタンプを集めると、今回は先ほど配付させていただいた糟谷磯丸のまじない歌しおりをもらえるということで、当時、糟谷磯丸さんが皆さんから依頼を受けたらどんなことでもお願ひをまじない歌にして差し上げていたらしくて、いろいろなタイプのものがあり、皆さんそれぞれ全部違うものになっておりますので、よろしければ御覧ください。

教育長

伊良湖が力を入れておりますので、ぜひまたやっただけるとあり

教育総務課長

がたいなと思います。  
そのほかどうですか。

教育長

ございません。  
それでは、委員の皆さんから何かございますでしょうか。  
ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。  
ご協力ありがとうございました。  
これをもちまして、田原市教育委員会第4回定例会を閉会とさせていただきます。  
ありがとうございました。

教育長

閉 会 午後4時56分